

外来・在宅医療提供体制に係る調査票（案）

問1. 貴医療機関の基本情報についてお伺いします。

1-1 医療機関名：（ ）

1-2 所在地：（ ）

1-3 病診区分：（ ①病院 ②有床診療所 ③無床診療所 ）

1-4 医療を提供している診療科を記入する。（該当する全ての診療科を選択）

- | | |
|-------|---------|
| ①内科 | ⑦産婦人科 |
| ②外科 | ⑧精神科 |
| ③泌尿器科 | ⑨眼科 |
| ④整形外科 | ⑩耳鼻咽喉科 |
| ⑤脳神経科 | ⑪皮膚科 |
| ⑥小児科 | ⑫その他（ ） |

問2. 貴医療機関の外来医療提供の現状と今後の見込みについてお伺いします。

2-1 外来医療に従事する医師数を年齢台ごとに記入する。（常勤換算）

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| ①39歳以下：（ ）人 | ②40歳代：（ ）人 | ③50歳代：（ ）人 |
| ④60歳代：（ ）人 | ⑤70歳代：（ ）人 | ⑥80歳以上：（ ）人 |

2-2 外来延べ患者数を記入する（本年月～月の延べ患者数）

本年 月	本年 月	本年 月
人	人	人

2-3 貴医療機関の2030（令和12）年時点での存続見込について

- | | | | | |
|-------|---------|-----------|-----|-----|
| ①本人継続 | ②継承（親族） | ③継承（親族以外） | ④閉院 | ⑤不明 |
|-------|---------|-----------|-----|-----|

問3. 在宅医療（訪問診療・往診）の実施状況と今後の実施見込みについてお伺いします。

3-1 現在、訪問診療や往診を行っているか

- | | | |
|-----------------|--------------|------------|
| ①訪問診療も往診も行っている | ②訪問診療のみ行っている | ③往診のみ行っている |
| ④訪問診療も往診も行っていない | | |

3-2 今後（2030（令和12）年時点）では在宅医療を行っていると思うか。

- | | | |
|-----------|-----------------|------------|
| ①行っていると思う | ②行いたいが行っていないと思う | ③行っていないと思う |
|-----------|-----------------|------------|

3-3 行っていると思う理由（上記問 3-2 で①を選択した方）…（複数回答可）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ①外来通院患者からの希望 | ⑤地域や社会からの在宅医療へのニーズ |
| ②他医療機関から訪問診療等の依頼（紹介） | ⑥国が地域包括ケアシステムの構築を推進 |
| ③対象となる患者の今後の増加見込 | ⑦経営状態が良くなりそう |
| ④多職種と連携によって少ない負荷で可能 | ⑧その他（ ） |

3-4 行っていないと思う理由（上記問 3-2 で②又は③を選択した方）…（複数回答可）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ①在宅医療を行う医師等がない | ⑦年齢的に自信がない |
| ②後方支援病院との連携ができていない | ⑧後継者がいない |
| ③多職種との連携が不足している | ⑨訪問用の医療機器が確保できない |
| ④患者のニーズがない | ⑩得られる診療報酬に比べ負担が大きい |
| ⑤知識・技術に不安がある | ⑪その他（ ） |
| ⑥体力・気力に不安がある | |

3-5 今後（2030（令和 12）年時点）の在宅医療の受入見込〔現在実施なくとも将来的に開始する場合も含む〕（上記問 3-2 で①を選択した方）

- | |
|---------------------------------------|
| ①現状との比較で患者数を増やせる ⇒ 1 か月当たり増やせる患者数（ ）人 |
| ②現状との比較で患者数を増やせない |
| ③患者数を減らして継続 |

3-6 在宅医療の提供を増やすためには何が必要と思うか…（あてはまるもの 3 つまで）

- | |
|--|
| ①自院の在宅医療に関わる医師の増員 |
| ②自院の在宅医療に関わる医師以外のスタッフの増員 |
| ③在宅医療を行う他の医療機関との連携 |
| ④訪問看護ステーションとの連携（提携先事業所の増加など） |
| ⑤病院との連携 |
| ⑥在宅療養支援診療所の届出を行う等による診療報酬の増収確保 |
| ⑦退院後のスムーズな在宅移行の実現 |
| ⑧患者・家族への周知と需要・ニーズの発掘（医療提供側の体制はできているので） |
| ⑨訪問診療に係る現行の診療報酬の引き上げ |
| ⑩訪問診療に係る現行の診療報酬の引き下げ（患者の負担を軽減するためなど） |
| ⑪その他（ ） |

〔以降の設定問は現在在宅医療を行っている医療機関（問 3-2 で①を選択）のみ御回答ください。〕

問 4. 在宅医療等の実施状況についてお伺いします。

4-1 在宅医療に対応している職員数を記入する

医師	薬剤師	看護師	その他（医療事務等）
人	人	人	人

4-2 在宅医療を行う医師の年齢別人数

①39 歳以下：（ ）人	②40 歳代：（ ）人	③50 歳代：（ ）人
④60 歳代：（ ）人	⑤70 歳代：（ ）人	⑥80 歳以上：（ ）人

4-3 在宅医療の実施状況を記入する

【本年度（1か月）の実績】

①在宅療養の対象患者数（実人数）		人
②うち、自宅で療養されている方※		人
③総訪問回数	訪問診療	回
	往診	回
④訪問診療や往診に対応している日数（1週間あたり）		日
⑤最も距離が遠い患者宅までの自動車での移動時間	片道 約	分

【1年間（昨年月～本年度）の実績】

⑥在宅医療の対象者のうち、亡くなった方（場所問わず）		人
⑦うち、在宅（病院、有床診療所以外）で亡くなった方		人
⑧うち、自宅で亡くなった方※		人

4-4 対応している在宅医療の処置は何か（あてはまるものを全てを選択）

①麻薬管理	⑨在宅酸素療法
②経鼻経管栄養	⑩人工肛門ケア・人工膀胱・尿管皮膚瘻
③胃ろう・腸ろう管理	⑪褥瘡処置
④在宅中心静脈栄養	⑫褥瘡以外の創傷管理
⑤精密輸液ポンプ管理	⑬腹水排液
⑥膀胱留置カテーテル（男性のみ）	⑭在宅人工呼吸器管理
⑦膀胱留置カテーテル（女性のみ）	⑮リハビリテーション指導
⑧膀胱留置カテーテル（男性・女性両方）	⑯その他（ ）

4-5 在宅医療で対応可能な疾患は何か（あてはまるものを全てを選択）

①がん疾患	⑤認知症
②脳血管疾患	⑥精神・神経疾患（認知症除く）
③循環器・呼吸器疾患	⑦整形外科疾患
④糖尿病	⑧その他（ ）

4-6 緊急時の対応として実施しているものは何か

①早朝対応	②夜間対応	③休祭日対応	④いずれも対応なし
-------	-------	--------	-----------

4-7 緊急時における後方病床は確保できているか（診療所のみ対象の設問）

①十分に確保できている	②確保が不十分	③確保できていない
-------------	---------	-----------

4-8 病院での退院時カンファレンスに医療従事者は参加しているか（診療所のみ対象の設問）

①毎回参加する	②日時が合う時のみ参加する	③参加したことはない
---------	---------------	------------

4-9 毎回参加していない理由を記載する（上記問4-8で②又は③を選択した方）

[自由記述]

4－10 退院カンファレンスについて、円滑な在宅医療への移行のために望ましいと考える開催時期はいつ頃と思うか（診療所のみ対象の設問）

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| ①入院前 | ②入院後 1 週間以内 | ③入院後 2 週間以内 | ④入院後 1 か月以内 |
| ⑤退院の 1 週間前 | ⑥退院の数日前 | ⑦退院直前 | ⑧不明 |

4－11 退院患者を在宅医療に円滑に受け入れられていると思うか（診療所のみ対象の設問）

- | |
|-------------------------|
| ①大半のケースにおいて円滑に受け入れられている |
| ②半数のケースにおいて円滑に受け入れられている |
| ③あまり円滑に受け入れられていない |
| ④全く円滑に受け入れられていない |